

# SABRE SB35

ウルトラスリム・ホームシアターシステム

取扱説明書



 DOLBY  
TRUEHD  
DIGITAL PLUS

 dts-HD

 HDMI  
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

harman / kardon<sup>®</sup>  
by HARMAN

## 安全上のご注意

- 使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

**⚠ 警告** この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

**⚠ 注意** この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

### ⚠ 警告

- ❗ AC アダプタは、見える位置で、手が届く範囲のコンセントに接続する。  
万一の場合、AC アダプタを容易に引き抜くためです。
- ⊘ 付属品以外の電源コードは使用しない。  
火災の原因になることがあります。
- ⊘ 付属品の AC アダプタを他の機器に転用しない。  
火災の原因になることがあります。
- ⊘ 船舶などの直流 (DC) 電源には接続しない。  
火災の原因になります。
- ⊘ 電源コードを束ねた状態で本機を使用しない。  
火災・感電の原因になります。
- ⊘ 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない。  
電源コードが破損して火災・感電の原因になります。
- ❗ 電源コードが破損した場合（芯線の露出や断線など）には、販売店または弊社東京サービスセンターに交換（有償）を依頼する。  
そのまま使用すると火災・感電の原因になります。
- ⊘ タコ足配線しない。  
発熱により火災・感電の原因になります。
- ⊘ テーブルタップ（延長コード）を使用しない。  
発熱により火災・感電の原因になります。
- ⊘ 雷が鳴りはじめたら、電源アダプタには触れない。  
感電の原因になります。
- ⊘ 電源コードの上に重いものをのせたり、電源コードを本機の下敷きにしない。  
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- 🔌 煙が出る場合、異常なおいや音がする場合は、すぐに AC アダプタをコンセントから抜く。  
煙が出なくなるのを確認して販売店または弊社東京サービスセンターに修理を依頼してください。
- ⊘ 水道の蛇口付近や風呂場などの濡れている場所や水気の多い場所では使用しない。  
火災・感電の原因になります。
- ❗ 本機の内部に水などが入った場合は、AC アダプタをコンセントから抜いて販売店または弊社東京サービスセンターに点検を依頼する。  
そのまま使用すると火災・感電の原因になります。
- ⊘ 本機の内部に異物を入れない。  
万一、本機の内部に異物が入った場合は、AC アダプタをコンセントから抜いて販売店または弊社東京サービスセンターに点検をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- ⊘ アルコール・シンナーなどの引火性溶剤の近くに設置しない。  
引火性溶剤が本機内部の電源部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。

- 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明していません。

- ⊘ 禁止（してはいけないこと）を示す記号です。
- ⊘ 分解してはいけないことを示す記号です。
- ⊘ 濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
- ⊘ 触れてはいけないことを示す記号です。
- ⊘ 水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
- ❗ 指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示す記号です。
- 🔌 電源アダプタをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

### ⚠ 警告

- ⊘ 分解や改造をしない。  
感電の原因になります。
- ⊘ 調理台や加湿器の近くなど油煙や湯気があたる場所に設置しない。  
火災・感電の原因になることがあります。
- ⊘ 直射日光があたる場所や、温度が異常に高くなる場所（暖房機のそばなど）に設置しない。  
キャビネットや内部回路に悪影響が生じ、火災の原因になることがあります。
- ❗ オーディオ機器を接続するときは、それぞれの機器の取扱説明書に従い、指定のケーブルを使用して接続する。  
指定以外のケーブルを使用すると発熱し、やけどの原因になることがあります。

### ⚠ 注意

- ⊘ 濡れた手でコンセントを抜き差ししない。  
感電の原因になります。
- 🔌 長期間本機を使用しないときは、AC アダプタをコンセントから抜く。  
火災・感電の原因になります。
- ⊘ AC アダプタを抜くときは、電源コードを引っばらない。  
電源コードが破損して火災・感電の原因になることがあります。
- ❗ AC アダプタは、コンセントの根元まで確実に差し込む。  
AC アダプタを正しく差し込まずに本機を使用すると、火災や感電の原因になります。
- ⊘ ほこりや湿気の多い場所に設置しない。  
ほこりの堆積によりショートして、火災や感電の原因となります。
- ⊘ 不安定な場所や振動する場所に設置しない。  
本機が落下や転倒して、けがの原因となります。
- 🔌 移動するときには電源スイッチを切り、すべての接続を外す。  
接続機器が落下や転倒して、けがの原因になります。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。
- ⊘ 薬物厳禁  
ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。また、接点復活剤を使用しない。外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。

## 電池についてのご注意

### ❗ 電池の液が漏れたときは直ちに火気より離す。

漏液した電解液に引火し、破裂、発火する原因になります。また電池の液が目に入ったたり体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因になります。

#### ●液が漏れたとき

→漏れた液に触れないように注意しながら、直ちに火気より離してください。乾いた布などで電池ケースの周りをよくふいてください。

#### ●液が目に入ったとき

→目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分洗い、ただちに医師の診察を受けてください。

#### ●液が体や衣服についたとき

→すぐに水道水などのきれいな水で十分洗い流してください。

### ❗ 電池について以下のことに注意する。

本製品のリモコンはリチウム電池を使用しています。リチウム電池にはリチウムが含まれており、誤った使用、取り扱い、廃棄により爆発する恐れがあります。

●火の中に入れてたり、加熱したりしないでください。また、直射日光のあたる場所、高温多湿の場所、車中等に放置しないでください。

●使用中、保管時等に発熱したり、異臭を発したり、変色、変形、その他今までと異なる場合は使うのを止めてください。

●電子レンジや高圧容器に入れないでください。

●水、海水、ジュースなどで濡らさないでください。

●強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。

## Bluetooth® に関するご注意

本機は、2.4GHzの周波数帯の電波を利用しています。この周波数の電波は、一般家庭でもいろいろな機器（電子レンジやコードレスフォンなど）で使用されています。

以下のような場所で本機を使用する場合、送信/受信ができなくなることがあります。

- 2.4GHzを利用する無線LAN、また電子レンジなどの機器の磁場、静電気、電波障害が発生するところ。（環境により電波が届かない場合があります。）
- ラジオから離してお使いください。（ノイズが出る場合があります。）
- テレビにノイズが出た場合、本機（および本機対応製品）がテレビ、ビデオ、BSチューナー、CSチューナーなどのアンテナ入力端子に影響を及ぼしている可能性があります。本機（および本機対応製品）をアンテナ入力端子から遠ざけて設置してください。

### ⚠ 注意

- 本機の使用によって発生した損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 本機は、全てのBluetooth機器との接続動作を保証するものではありません。
- 弊社ではお客様の接続機器に関する通信エラーや不具合について、一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

### 安全にお使いいただくために

- 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは使用しない。電子機器に誤動作するなどの影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。
- 航空機内や病院など、使用を禁止された場所では使用しないでください。電子機器や医療用電気機器に影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。医療機関などの指示に従ってください。

### ご注意ください電子機器の例

補聴器、ペースメーカー、その他医療用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他自動制御機器など。

ペースメーカー、その他医療用電気機器をご使用される方は、該当の各医療用電気機器メーカーまたは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

### 電波法に基づく認証について

本機は電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の行為を行うと法律により罰せられることがあります。

- 本機を分解/改造すること。
- 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと。

### 周波数について

この無線機器は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFHSS（周波数拡散方式）を採用し、想定される与干渉距離は約10mです。

2.4 FH 1

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場

の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- 1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認して下さい。
- 2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、弊社東京サービスセンターにご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
- 3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社東京サービスセンターへお問い合わせください。

## 機器認定について

本機は、電波法に基づく省電力データ通信システムの無線設備として認証を受けています。したがって、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。

ただし、以下の事項を行うと法律により罰せられることがあります。

- 本機を分解/改造すること

はじめに	6
付属品の確認	6
本システムの特長	7
各部の名称	8
< サウンドバー上面 >	8
< サウンドバー背面 >	8
< リモコン >	8
準備	9
リモコンに電池を入れる	9
本システムを設置する	10
サブウーファーを設置する	10
サウンドバー / サブウーファーを壁に取り付ける	11
サブウーファーの設置場所について	11
接続	12
ARC 対応テレビに接続する場合	12
ARC 対応していないテレビに接続する場合	13
IR リピーターの接続	14
電源の接続	14
リアパネルカバーを取り付ける	14
HDMI 機器制御機能を使う	15
サウンドバーとサブウーファーの接続	16
基本操作	17
電源をオン / オフする	17
ソースを切り替える	17
テレビの音を聞くには (ARC 対応テレビに接続している場合)	17
テレビの音を聞くには (ARC に対応していないテレビに接続している場合)	17
BD プレーヤー / HDD レコーダーの音を聞くには	17
音量を調整する	18
Bluetooth 接続を行う 20	
Harman Kardon Remote について	20
サブウーファーのクロスオーバー調整	21
サブウーファーの位相調整 (0-180°)	21
本システムをリセットする	21
トラブルシューティング	22
お手入れ	22
主な仕様	23
オンラインご愛用者登録のご案内	23
アフターサポート	23

## はじめに

このたびは、Harman Kardon SABRE SB35 をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

SABRE SB35 は、映画館の臨場感と迫力をご家庭のリビングルームで実現するために特別に設計されたシステムです。未永くご愛用いただき、聴く楽しさをご堪能ください。

本システムには、高度な電子部品や最先端のスピーカーコンポーネントが組み込まれていますが、セットアップや操作は簡単です。このホームシアターから聴く楽しさを最大限に引き出していただくために、まずは本書をご一読ください。

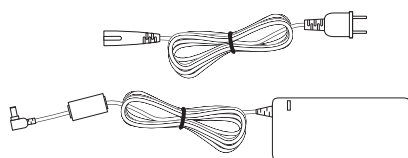
## 付属品の確認

本システムに同梱されている付属品は、以下のとおりです。

- サウンドバー本体 1 台



- 電源ケーブル+ AC アダプタ 1 個



- アナログ音声ケーブル 1 本



- 光デジタルケーブル 1 本



- マイクロ HDMI-HDMI ケーブル 2 本



- IR リピーター 1 個



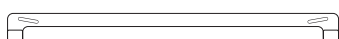
- リモコン 1 個



- テーブルスタンド (サウンドバー用) 1 個



- 壁取り付け用スタンド (サウンドバー用) 1 個



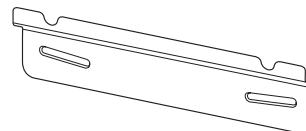
- 防振ゴム (サウンドバー用)



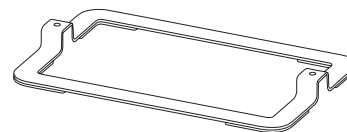
- リアパネルカバー (サウンドバー用)



- 壁取り付け用ブラケット (ワイヤレスサブウーファー用) 1 個



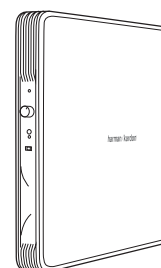
- フロアスタンド (ワイヤレスサブウーファー用) 1 個



- フロアスタンド (ワイヤレスサブウーファー用) 固定用ネジ 2 個

- フロアスタンド固定用レンチ 1 個

- ワイヤレスサブウーファー 1 台



- AC ケーブル (ワイヤレスサブウーファー接続用) 1 本



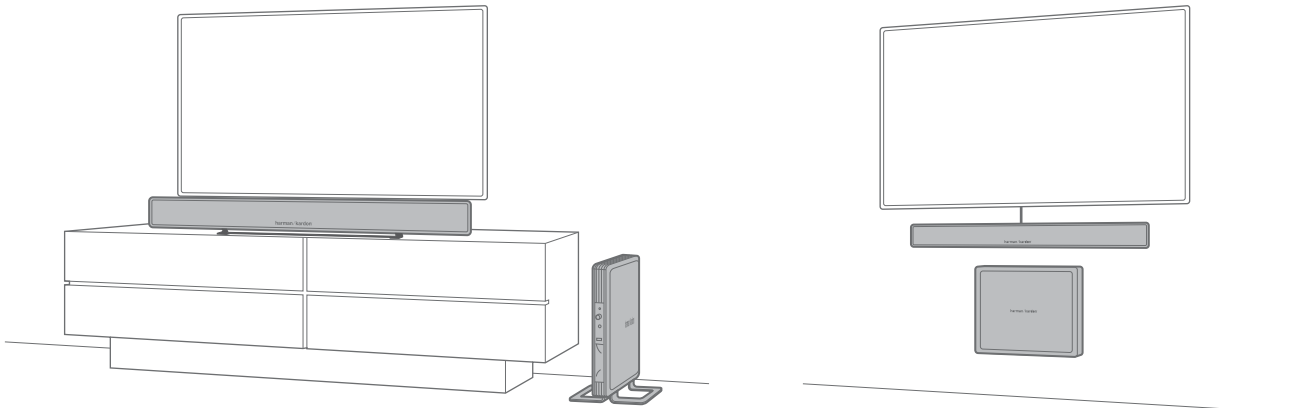
- クイックセットアップガイド 1 冊

- 取扱説明書 (本書)

- 品質保証書 1 枚

## 本システムの特長

「SABRE（セイバー）SB35」は、スタイリッシュな超薄型デザイン、そして独自のデジタル信号処理によるリアルなサラウンド体験ときめ細やかで高品位なサウンドが特徴の、スリムサウンドバー＆ワイヤレスサブウーファーのホームシアターセットです。サウンドバーだけでなくサブウーファーも壁掛けに対応。リビングをスマートに演出しながら高音質なサラウンドをお楽しみいただけます。



### ◆部屋の大小にかかわらず、臨場感あふれるリアルな高音質サラウンド

独自開発の「HARMAN Wave サラウンドモードテクノロジー」による高度なデジタル信号処理で、様々な大きさ・形状の部屋においてもリアルなサラウンドを実現。映画やゲーム、音楽を臨場感あふれるサウンドでお楽しみいただけます。

### ◆32mm、超薄型スリム・サウンドバー

超薄型 32mm ウルトラスリムデザインを採用したスタイリッシュなサウンドバーです。質感の高いアルミボディによるシンプルで美しいフォルムは見る者を飽きさせません。サウンド面においても、高性能 44mm 径ドライバー + 25mm 径ドライバーを、内蔵のアンプが総合 140W のハイパワーでしっかりときめ細やかにドライブ。その薄さからは想像のできない高品位なサウンドを提供します。

### ◆設置の自由度アップ、ワイヤレス・スリム・サブウーファー

わずか 86mm、スリムデザインのワイヤレスサブウーファーだから、設置の自由度アップ。付属のアタッチメントで壁掛けも OK。さらに横置きも可能なのでラックの下の隙間などにもフラットに設置していただけます。ハイパワー 100W の内蔵アンプでスリムながらもディープな重低音をお楽しみいただけます。

### ◆Bluetooth 対応でスマートホンや PC なども簡単ワイヤレス接続、

スマートホンやタブレット、PC や携帯ゲーム機などの Bluetooth 搭載機器と簡単にワイヤレス接続ができます。

### ◆多彩な入力方式

HDMI×3、HDMI(ARC,CEC)×1、Bluetooth×1、光デジタル 1、アナログ ×1

### ◆スクリーンディスプレイ搭載

サウンドバーのフロントパネルにスクリーンディスプレイを搭載。テキスト表示により、現状のステータスを一目で確認できます。

### ◆IR リピーター付属

サウンドバーが TV のリモコン受光部をかくしてしまっても、IR リピーターを受光部近くに設置することで、TV のリモコン信号をサウンドバーのフロントパネルで受信し、IR リピーターから送信できるので TV のリモコンはそのまま使用できます。

### ◆HARMAN VOLUME

TV 番組、映画、CM などコンテンツによる音量のばらつきを自動調整します。

### ◆簡単リモコン操作

操作は至ってシンプルです。難しい設定も必要ありません。手のひらサイズのリモコンで直感的に操作ができます。

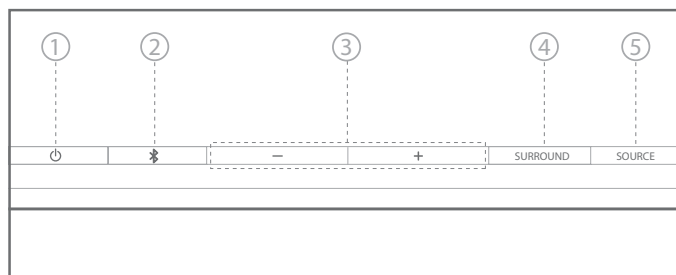
### ◆背面も美しくスマートに、リアパネルカバー装備

本体背面の各種接続端子を覆うリアパネルカバーが付属。ケーブル配線もすっきりと、背面までも美しくスマートに。

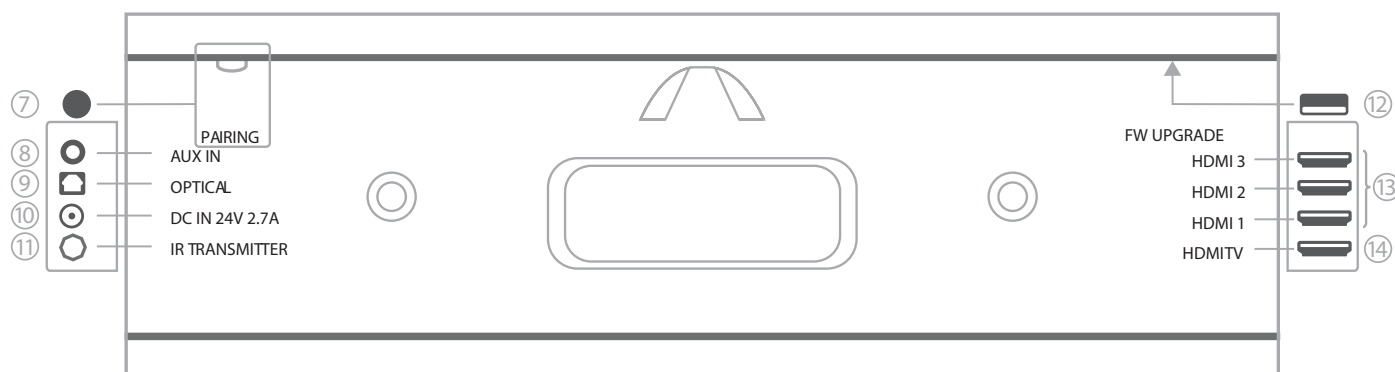
## 各部の名称

### < サウンドバー上面 >

- ① ㊦ (電源) ボタン
- ② ㊦ (Bluetooth) ボタン
- ③ 音量 (-/+ ) ボタン
- ④ SURROUND (サラウンド) ボタン
- ⑤ SOURCE (ソース) ボタン



### < サウンドバー背面 >



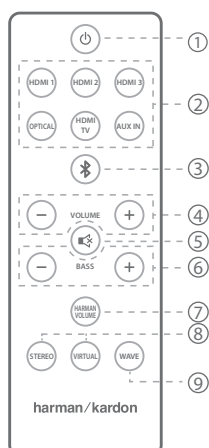
- ⑦ PAIRING (ペアリング) ボタン
- ⑧ AUX 入力 (アナログ音声入力) 端子
- ⑨ OPTICAL (光デジタル音声入力) 端子
- ⑩ DC IN 24V 2.7A (DC 電源入力) 端子
- ⑪ IR TRANSMITTER (IR リピーター) 端子 (オプション)
- ⑫ USB ポート (ソフトウェアのアップデート専用)

このUSB ポートは、本システムのファームウェアアップデート専用です。

ファームウェアのアップデートは、Bluetooth 接続した Android または iOS を搭載したモバイルデバイスで行います。アップデート方法については、19 ページをご覧ください。

- ⑬ HDMI 3 (HDMI 入力) 端子  
HDMI 2 (HDMI 入力) 端子  
HDMI 1 (HDMI 入力) 端子
- ⑭ HDMI TV (ARC, CEC 対応) 端子  
※ARC (オーディオリターンチャンネル)  
※CEC (コンシューマーエレクトロニクスコントロール)

### < リモコン >



- ① ㊦ (電源) ボタン
- ② ソースボタン
- ③ ㊦ (Bluetooth) ボタン
- ④ 音量 (-/+ ) ボタン
- ⑤ ㊦ (ミュート) ボタン
- ⑥ サブウーファー音量 (-/+ ) ボタン
- ⑦ HARMAN VOLUME ボタン
- ⑧ STEREO、VIRTUAL モードボタン
- ⑨ WAVE ボタン

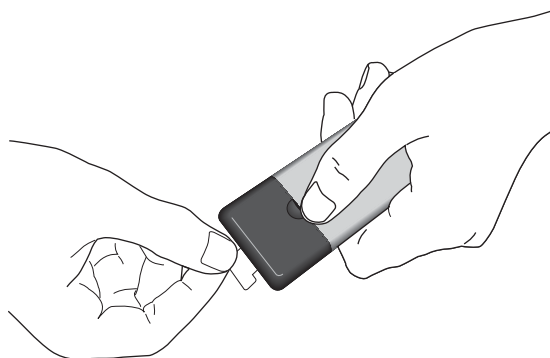


## 準備

## リモコンに電池を入れる

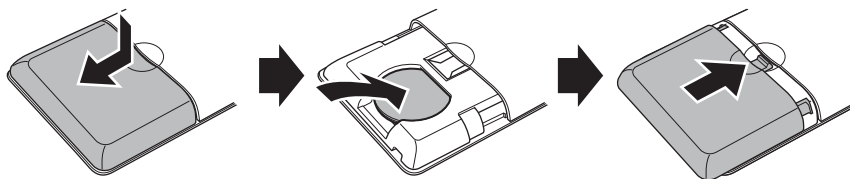
リモコンにはあらかじめ電池が入れています。お使いになる前に、絶縁フィルムを引き抜いてください。

- 付属の電池は動作確認用です。寿命が短いことがあります。ご了承ください。



電池を交換する際は、以下の手順で行います。

- ① 電池ぶたを開ける。
- ② 古い電池を取り出し、新しい電池 (CR2025) と交換する。
- ③ 電池ぶたを閉める。



## ご注意:

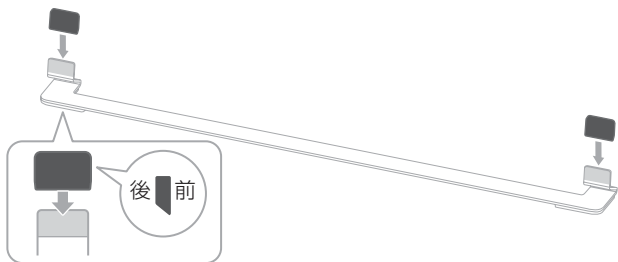
- 指定のリチウム電池 (CR2025) を正しく入れてください。逆に入れたり、確実に入っていないと発熱・変形・液漏れ・故障の原因になります。
- 長期間使わないときは、電池を取り出してください。リモコン内で電池が液漏れを起こす場合があります。
- 万一液漏れが起こったときは、よくふき取って新しい電池を入れてください。
- 保証期限を過ぎた電池や、一部海外メーカーの電池を使用した場合、電池電圧が大きく変動するため、使用時間が極端に短くなったり、正常な動作をしなくなったりします。
- 不要となった電池の廃棄は、各自治体の指示 (条例) に従ってください。
- リモコン操作の際は、サウンドバーのリモコン受光部に向けて操作してください。
- サウンドバーのリモコン受光部に、直射日光や照明器具の強い光があたらないようにしてください。
- リモコンの操作可能範囲の目安は正面から約 3m、左右 30 度以内です。

## 本システムを設置する

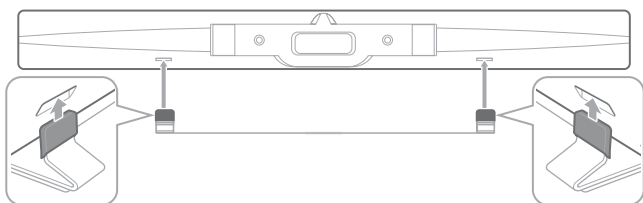
### サウンドバーをテレビ台の上に設置する

サウンドバーをテレビ台の上などに設置する場合は、同梱のテーブルスタンドを使用します。

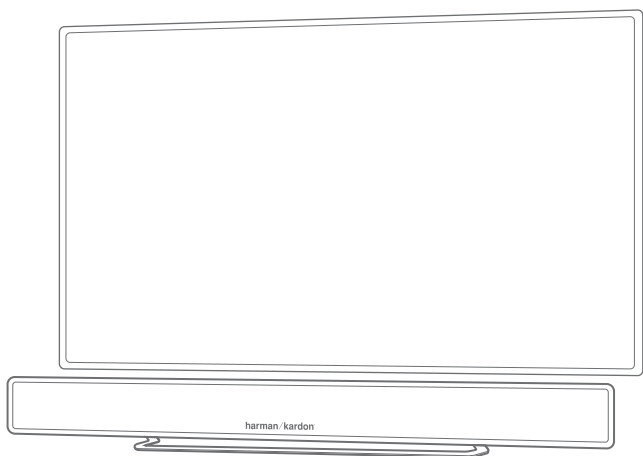
1. 同梱のテーブルスタンドに、防振ゴムを装着します。このとき、防振ゴムの向きに注意してください。



2. テーブルスタンドを、サウンドバー背面の差込口に押し込んで取り付けます。



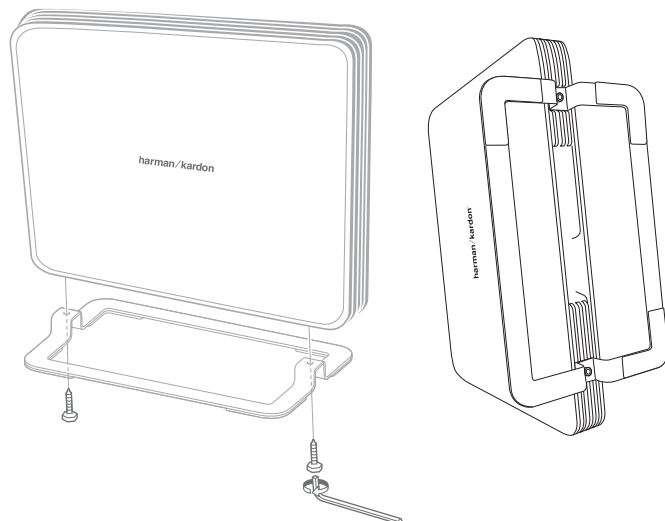
3. サウンドバーをテレビ台の上に設置します。



## サブウーファーを設置する

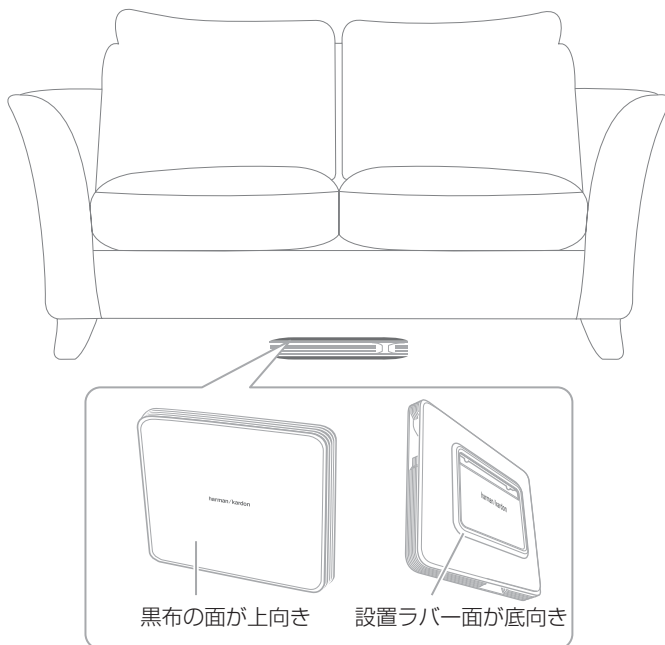
サブウーファーを床に設置するには、同梱のフロアスタンドを取り付けます。

同梱のレンチとネジを使用して、フロアスタンドをサブウーファーに固定してください。



サブウーファーをソファやテレビ台の下に設置する場合は、フロアスタンドを使用せず平置きします。

このとき、サブウーファーの黒布の面が上になるように設置してください。



## サウンドバー / サブウーファーを壁に取り付ける

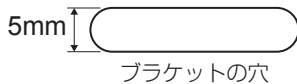
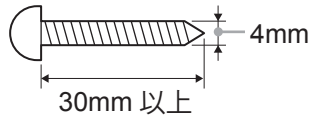
以下の手順で、サウンドバー / サブウーファーを壁に取り付けることができます。

- 販売店や工事店に依頼して、安全面に十分考慮しながら確実な取り付けを行ってください。
- 取り付けの不備、取り付け強度不足、誤使用、天災などによる事故、損傷につきましては、当社は一切責任を負いません。

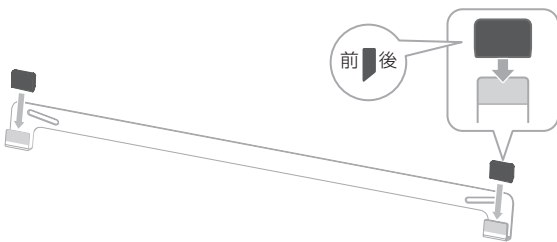
### ご注意：

- 壁取り付け用のネジは付属していません。壁の材質によっては破損する恐れがありますので、壁の材質や強度に合わせたネジを使用してください。
- ネジは壁の裏にある柱や梁にしっかりと固定してください。
- サウンドバー / サブウーファーは補強された壁に水平に取り付けてください。

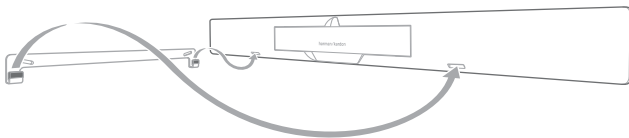
1. 壁取り付けブラケットの穴に合う市販のネジを用意します。



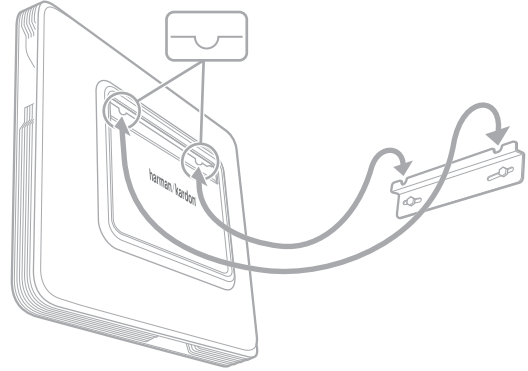
2. 壁面で、サウンドバー / サブウーファーの取り付け場所を決定します。
3. 壁取り付けブラケットを、壁面に固定します。ネジにゆるみがないように、しっかりと取り付けてください。
4. サウンドバー用の壁取り付けブラケットに、防振ゴムを装着します。



5. 壁取り付けブラケットにサウンドバーを取り付けます。サウンドバー背面のブラケット差込口に、しっかりと押し込んで取り付けます。このとき、片方の差込口に負担がかかると落下するおそれがありますので、サウンドバーを水平にした状態で差し込んでください。



6. サブウーファー用の壁取り付けブラケットに、サブウーファーを取り付けます。サブウーファー背面のブラケット差込口に、しっかりと押し込んで取り付けます。このとき、ブラケットの切り欠きと、サブウーファー背面の差込口にある凸部が合うように取り付けてください。



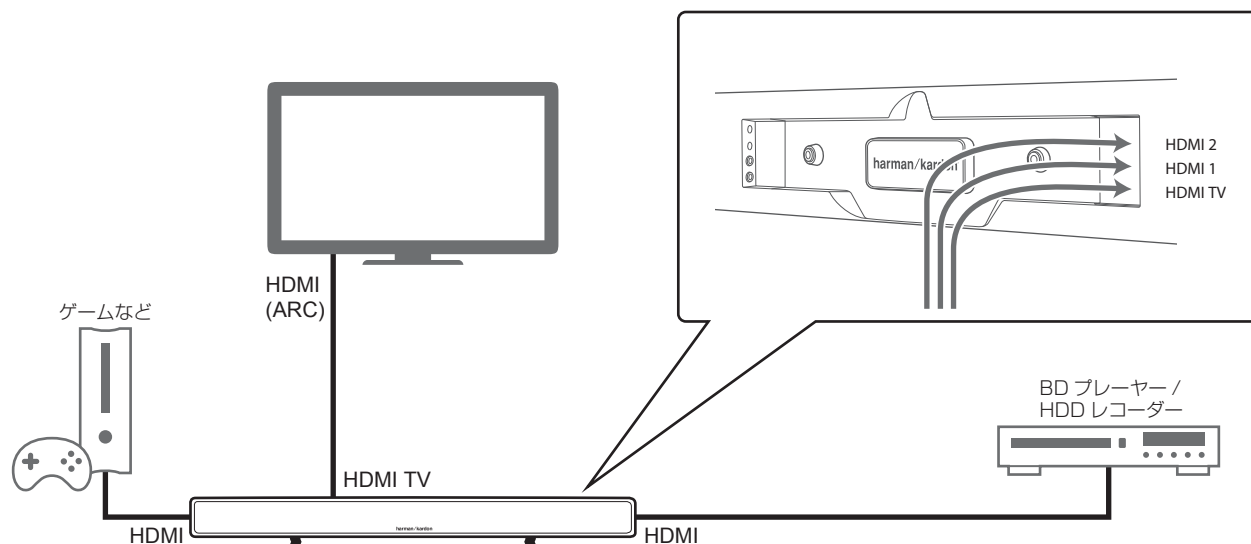
## サブウーファーの設置場所について

視聴する位置やサブウーファーの位置を変えながら実際にお試しになり、低音性能が最適になる場所を特定し、サブウーファーを設置することをおすすめします。

## 接続

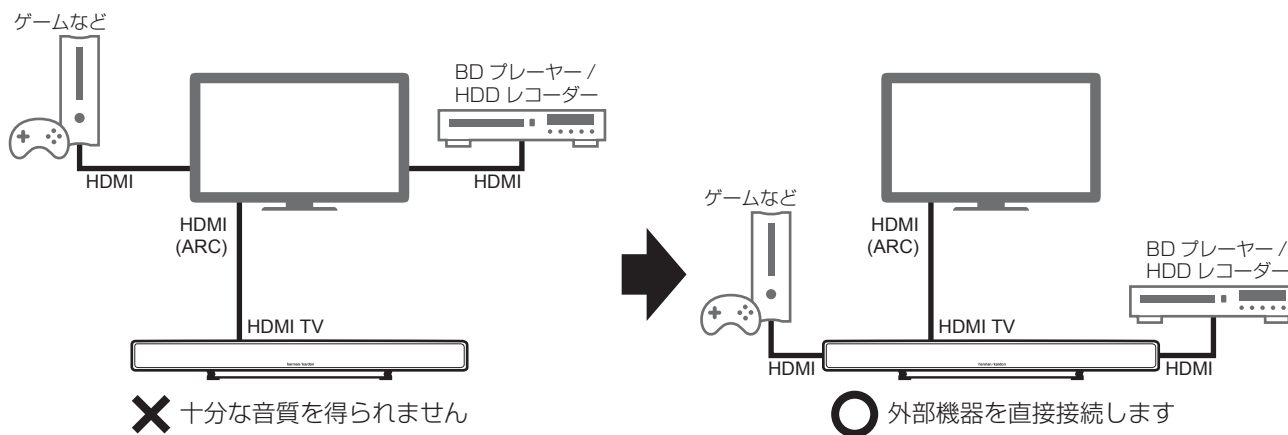
### ARC 対応テレビに接続する場合

お使いのテレビが ARC に対応している場合、サウンドバーの HDMI TV 端子とテレビ側の ARC に対応した HDMI 端子に接続します。



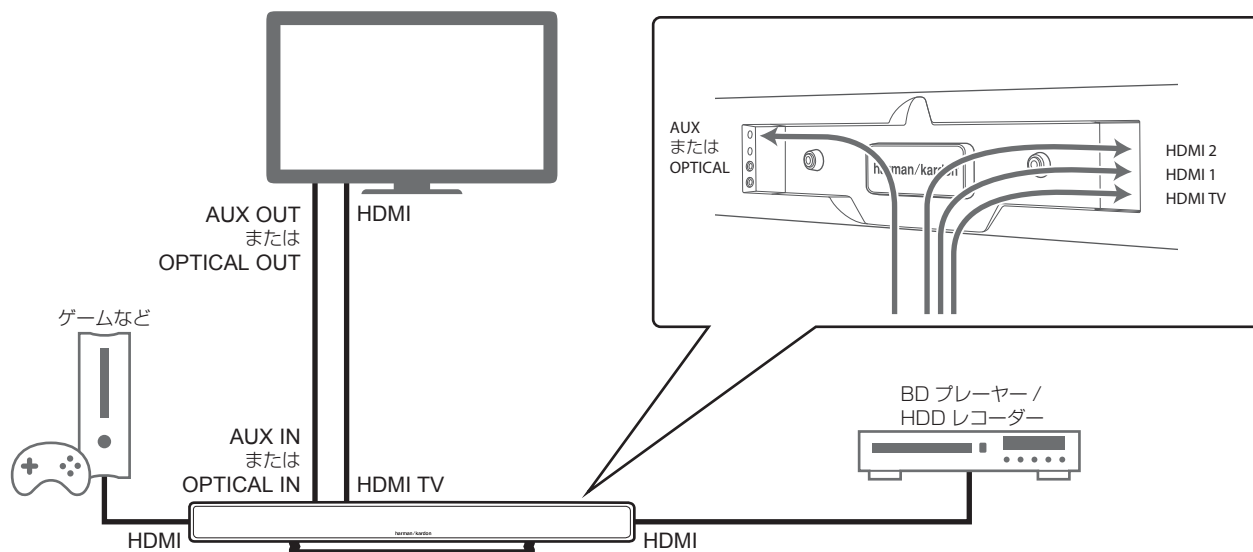
※ サウンドバーの HDMI 端子はマイクロ HDMI コネクタです。

BD プレーヤー / HDD レコーダーやゲームなどがテレビに接続された状態で、テレビの HDMI (ARC) 端子に接続した場合、ビットストリームが出力されず十分な音質を得ることができません。



## ARC 対応していないテレビに接続する場合

お使いのテレビが ARC に対応していない場合、HDMI 接続に加え、光ケーブルまたはアナログケーブルを使用して、テレビからサウンドバーに接続してください。

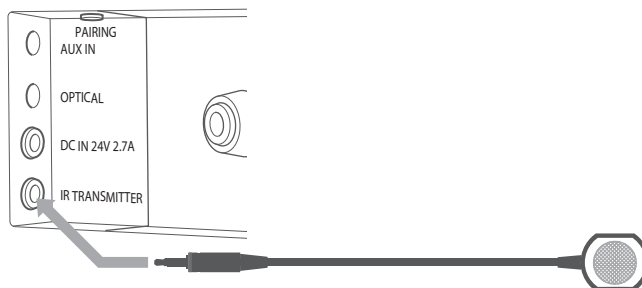


※ サウンドバーの HDMI 端子はマイクロ HDMI コネクタです。

## IR リピーターの接続

サウンドバーをテレビ台に設置した際、テレビのリモコンセンサー（受光部）を遮ってしまい、テレビの操作をリモコンで行えなくなる場合があります。このような場合には、同梱の IR リピーターを使用することをおすすめします。

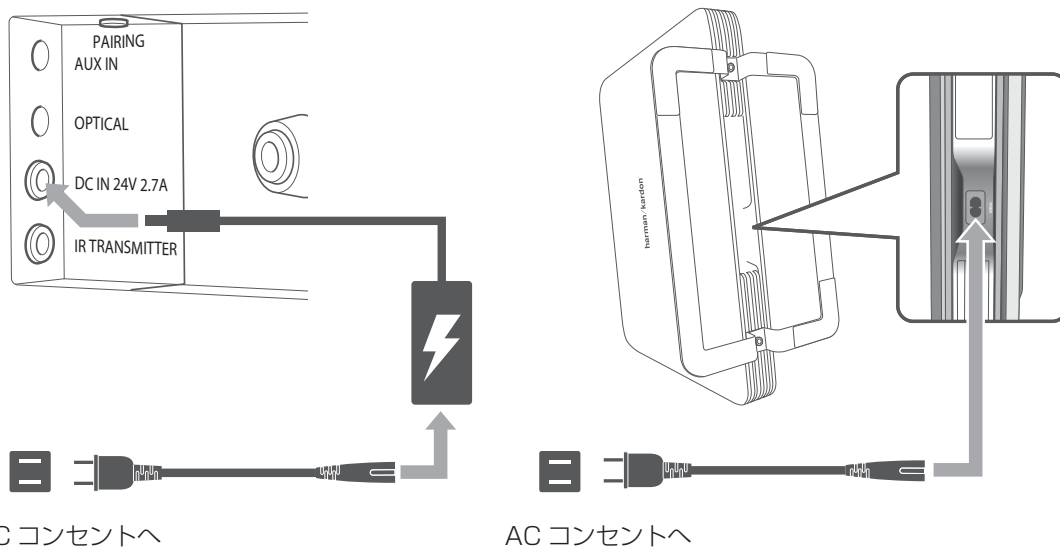
1. サウンドバーの背面に、同梱の IR リピーターを差し込みます。
2. IR リピーターを、テレビのリモコンセンサーの前と、サウンドバー背面の間に置きます。  
テレビのリモコンの信号が、サウンドバーの IR リピーターからテレビのリモコンセンサーに自動的に送信されます。



## 電源の接続

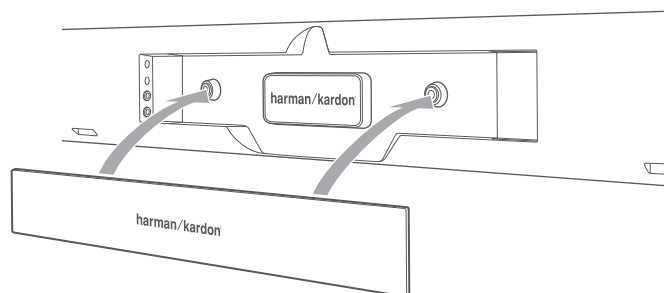
ソース機器の接続がすべて完了したら、電源に接続します。

1. サウンドバーの DC IN 端子に、AC アダプタを接続します。
2. AC アダプタに電源ケーブル接続し、電源ケーブルのプラグを壁面のコンセントに接続します。
3. AC ケーブルをサブウーファーに接続し、AC ケーブルのプラグを壁面のコンセントに接続します。



## リアパネルカバーを取り付ける

すべての接続が終わったら、端子部分へのほこりの付着を防ぐため、リアパネルカバーを取り付けます。



### HDMI 機器制御機能を使う

HDMI 機器制御機能に対応している製品と HDMI ケーブルで接続すると、以下のような機能を使って操作を簡単に行うことができます。

- 製品により、対応しないものがあります。
- 接続している機器の設定によっては、HDMI 機器制御機能が働かないことがあります。お使いの機器に付属の取扱説明書も合わせてご覧ください。

#### 電源オフ連動

テレビの電源オフに連動して、本機に接続している機器の電源もオフにすることができます。

#### システムオーディオコントロール

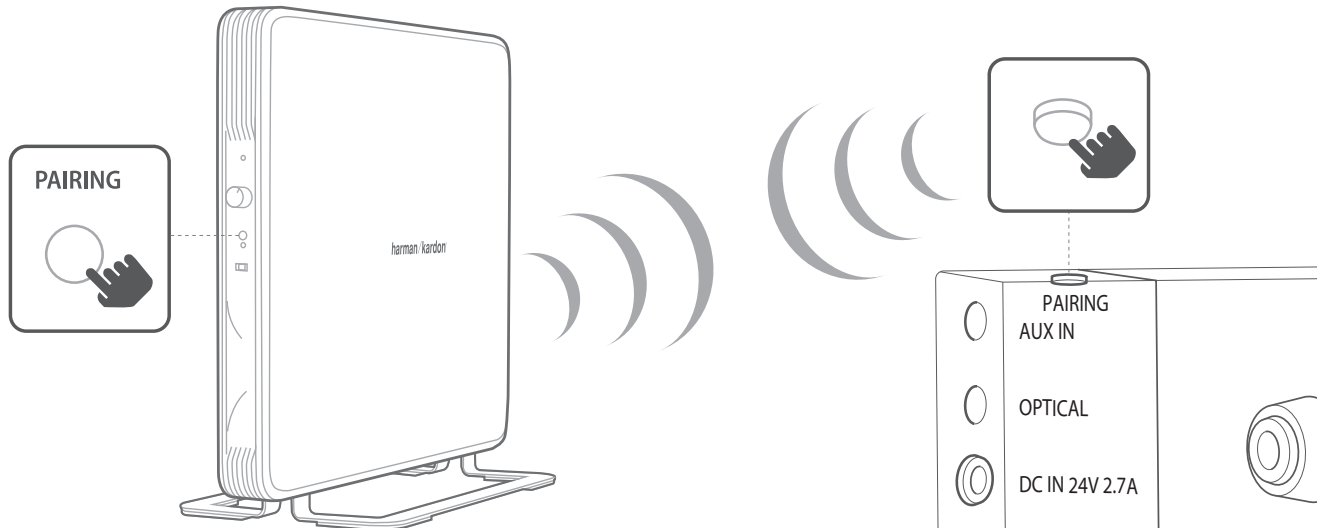
テレビを視聴しているときに本機の電源をオンにすると、テレビの音声は自動的に本システムから出力されます。テレビの音量を調節すると、本システムの音量を調節できます。(ARC 対応のテレビに接続しているときのみ)

#### オーディオリターンチャンネル

オーディオリターンチャンネル (ARC) 機能に対応したテレビの場合は、HDMI ケーブルを接続するだけで、テレビの音声を本システムのスピーカーで聞くことができます。

### サウンドバーとサブウーファースの接続

サウンドバーとワイヤレスサブウーファースの電源を初めてオンにする際、ワイヤレス接続の設定をする必要があります。接続を行うには、サウンドバーとサブウーファースいずれかの PAIRING ボタンを押し、30 秒以内にもう片方の PAIRING ボタンを押します。



接続されると、LED は点滅をやめ、青く点灯します。

**ご注意：** PAIRING（ペアリング）スイッチが押されない状態が 30 秒以上続くと、サブウーファースは、自動的にスタンバイモードになります。

#### サブウーファースのオン / オフ

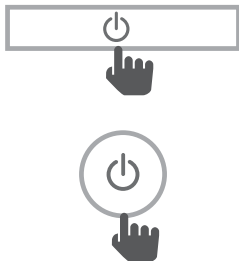
サブウーファースは、音声信号を検出すると自動的にオンになり、サウンドバーがスタンバイモードになるとスタンバイモードに戻ります。



## 基本操作

### 電源をオン / オフする

電源ボタンを押します。



電源の状態は、電源ボタン上のインジケーターで確認できます。

- ・ オレンジ：電源オフ（スタンバイ）
- ・ 白：電源オン

電源がオフのときに、電源ボタンを押すと、電源がオンになります。

また本システムには、以下の機能が搭載されています。

#### オートスタンバイ

本システムは、約 10 分間どのソース入力でも音声信号が検出されないと、自動的にスタンバイモードになります。

本システムを、お使いのテレビのリモコンのオン / オフコマンドに応答するように設定した場合は、テレビの電源をオフにすると同時に、本システムもスタンバイモードにすることができます。

**重要：**長期間留守にする場合や、長期間本システムを使用しない場合は、AC コンセントからコードを抜いておくことをおすすめします。

### ソースを切り替える

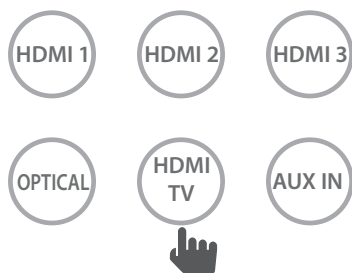
サウンドバーの SOURCE ボタンを押します。



ソースボタンを押すと、ソースが次の順番で切り替わります。

Bluetooth → AUX IN → Digital Optical In → HDMI ARC → HDMI 1 → HDMI 2 → HDMI 3

リモコンの場合は、ソースボタンを押してソースを選択します。



### テレビの音を聞くには（ARC 対応テレビに接続している場合）

1. テレビの電源をオンにします。
2. サウンドバーの電源をオンにします。
3. テレビの「スピーカー出力」の設定を「外部スピーカー」に変更します。  
設定画面の表示方法および設定方法は、お使いのテレビによって異なります。  
お使いのテレビの取扱説明書も合わせてご覧ください。
4. サウンドバーの入力を「HDMI TV」に設定します。  
リモコンの HDMI TV ボタンを押す、またはサウンドバーの SOURCE ボタンを繰り返し押し、「HDMI TV」を選びます。

### テレビの音を聞くには（ARC に対応していないテレビに接続している場合）

1. テレビの電源をオンにします。
2. サウンドバーの電源をオンにします。
3. サウンドバーの入力を「OPTICAL」または「AUX IN」に設定します。  
光 デジタル ケーブルで接続している場合は「OPTICAL」、アナログケーブルで接続している場合は「AUX IN」に設定します。  
リモコンの HDMI TV ボタンを押す、またはサウンドバーの SOURCE ボタンを繰り返し押しを選んでください。

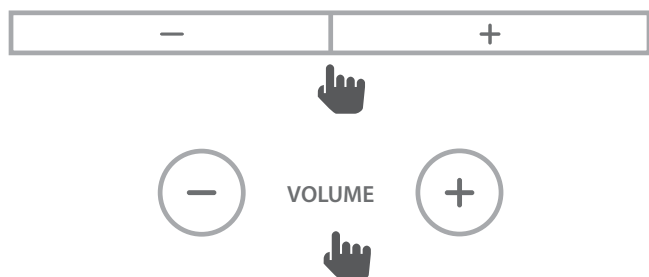
### BD プレーヤー / HDD レコーダーの音を聞くには

1. テレビの電源をオンにします。
2. BD プレーヤー / HDD レコーダーの電源をオンにします。
3. サウンドバーの電源をオンにします。
4. BD プレーヤー / HDD レコーダーの「音声出力設定」を変更します。  
BD プレーヤー / HDD レコーダーと本システムが接続されている端子を設定します。
5. サウンドバーの入力を「HDMI1」、「HDMI2」または「HDMI3」に設定します。  
リモコンの HDMI TV ボタンを押す、またはサウンドバーの SOURCE ボタンを繰り返し押し、BD プレーヤー / HDD レコーダーを接続している端子を選んでください。  
※ BD プレーヤー / HDD レコーダーなどによっては「音声出力設定」をする必要があります。

設定画面の表示方法および設定方法は、お使いの BD プレーヤー / HDD レコーダーによって異なります。  
お使いの BD プレーヤー / HDD レコーダーの取扱説明書も合わせてご覧ください。


### 音量を調整する

サウンドバーまたはリモコンの音量 (-/+ ) ボタンを押します。



本システムを最大音量の 50% 以上の音で再生しオフにした場合、次に電源をオンにしたときに、本システムは自動的に最大音量の 50% にリセットされます。

### ミュート (消音) 状態にする

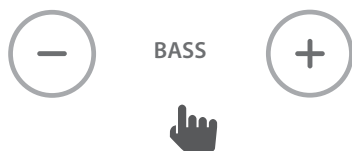
リモコンの  (ミュート) ボタンを押します。サウンドバーの場合は、+ と - ボタンを同時に押します。

もう一度押すと解除されます。



### サブウーファーの音量を調整する

リモコンのサブウーファー音量ボタン (-/+ ) ボタンを押します。



### ステレオモードを使用する

リモコンの STEREO ボタンを押して、ステレオモードがオンになります。



### サラウンドモードを使用する

リモコンの VIRTUAL ボタンを押して、サラウンドモードがオンになります。



サラウンドモードのときに WAVE ボタンを繰り返し押すと、サラウンド効果のかけ具合 (Large(大)、Midium(中)、Small(小)) を設定できます。



### Harman Volume を使用する

Harman Volume は、再生音量を調節するための高度なデジタル信号処理技術です。Harman Volume をオンにすると、TV 番組、映画、CM などコンテンツによる音量のばらつきを自動調整し、音量を均一化します。

リモコンの HARMAN VOLUME ボタンを繰り返し押して、「高」、「低」、「オフ」の順で切り替えることができます。



※ より高音質で聴きたい時は「オフ」にする事をおすすめします。

## フロントパネルディスプレイとオンスクリーンディスプレイ (OSD)

サウンドバーにあるフロントパネルディスプレイと、HDMI TV 端子に接続されているテレビの画面で、本システムのステータスを確認することができます。

サウンドバーまたはリモコンのボタンを押すと、ステータスの情報がフロントパネルディスプレイまたはテレビ画面に 5 秒間表示されます。(音声のみのソース接続が選択されている場合、テレビには Harman Kardon のロゴとともに黒い画面に重ねて表示されます。)

フロントパネルディスプレイおよびオンスクリーンディスプレイに表示される内容は、下記のとおりです。

音量調節：音量を変更した場合に、音量レベルが表示されます。

サブウーファースの音量調節：サブウーファースの音量を変更すると、サブウーファースの音量レベルが表示されます。

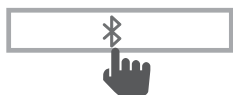
- ミュート：音声信号をミュートにすると、「Mute」と表示されます。
- ソース：選択したソース入力が表示されます。
- Harman Volume: Harman Volume の設定（高、低、オフのいずれか）が表示されます。
- サラウンドモード：サラウンドモードの設定（Stereo または Harman Display）が表示されます。
- Dolby® Digital: サウンドバーによって Dolby Digital 音声ストリームが検知されると、Dolby Digital の復号化がアクティブである旨が表示されます。
- DTS®: サウンドバーによって DTS 音声ストリームが検知されると、DTS の復号化がアクティブである旨が表示されます。(DTS HD 入力時も、フロントパネルディスプレイには「DTS」と表示されます。)
- Bluetooth: Bluetooth 動作時に、次の情報が表示されます。
- Bluetooth pairing - 本システムがペアリングモードである場合
- Bluetooth connected - 新しい機器との接続が正常に行われた場合
- Bluetooth - ソースが Bluetooth で、操作中の場合

選択した HDMI 接続が検出できない場合や映像信号が失われた場合には、OSD には、ステータス情報に加えて、メッセージも表示されます。

## Bluetooth 接続を行う

スマートフォンやタブレットなど、Bluetooth 対応デバイスを使ってワイヤレス再生を行うには、以下の手順を実行します。

1. ♪ (Bluetooth) ボタンを押してペアリングモードにします。  
サウンドバーおよびオンスクリーンディスプレイに、「Bluetooth pairing」と表示されます。



2. 接続したいデバイスをペアリングモードにします。
3. デバイスでペアリング操作を行い、登録 / 接続します。  
Bluetooth に接続できるデバイスの一覧が表示されます。
4. デバイスから「SABRE SB35」を選択します。

接続が完了すると、デバイス上で「接続されました」と表示されます。

サウンドバーおよびオンスクリーンディスプレイには、「Bluetooth connected」と表示されます。

Bluetooth 接続中は、サウンドバー上の ♪ (Bluetooth) ボタンのインジケーターが点灯します。

**ご注意:** 初めてペアリングを実行した場合、デバイスの音量レベルが最大にセットされることがあります。この現象は、最初のペアリング時のみに発生するもので、ペアリング完了後に手動で音量を調整してください。

### アプリケーションをインストールする

初めて接続した場合、無料アプリ (Harman Kardon Remote) をインストールするかどうかのメッセージが表示されます。「はい」をタップすると、ダウンロード画面が表示されます。

**ご注意:** Harman Kardon Remote をインストールしなくても本システムはお使いいただけますが、本システムのファームウェアのアップデートは、Harman Kardon Remote 経由で行う必要があります。

### Bluetooth 再生を行う

デバイスの音声を聞くには、デバイス上で再生を始めます。

Bluetooth 再生中にサウンドバーでソースを切り替えた場合は、接続したデバイスの再生を自動的に停止します。

### Bluetooth 接続した機器を切り替える

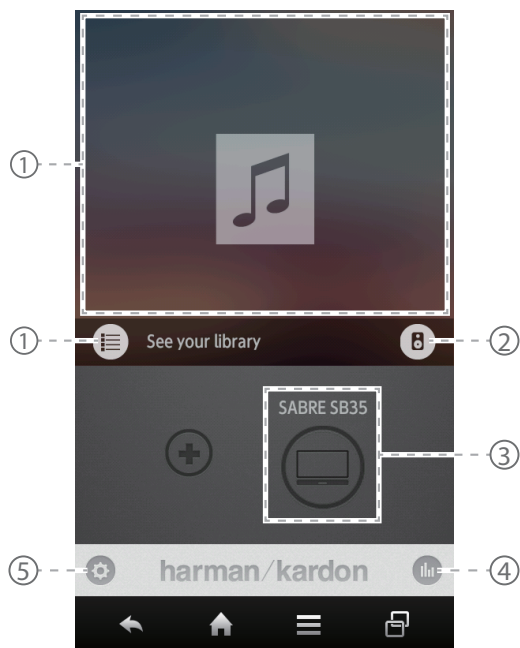
本システムは、Bluetooth 接続したデバイスを 10 機まで記憶できます。

### Bluetooth 接続を解除する

サウンドバーの ♪ (Bluetooth) ボタンのインジケーターが点滅するまで、♪ (Bluetooth) ボタンを長押しします。  
または、デバイスの Bluetooth を「OFF」にします。

## Harman Kardon Remote について

Harman Kardon Remote は、本システムの操作、プレイリストの作成やファームウェアのアップデートを行うことができます。



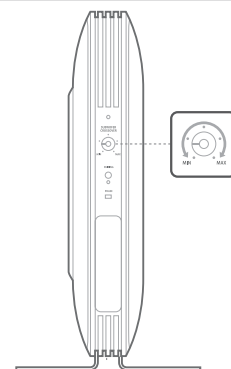
- ① タップして曲やプレイリストを選択します。
- ② タップして音楽を再生するスピーカーを選択します。  
(本システムまたはデバイスのスピーカー)
- ③ タップすると、操作パネルが表示され、デバイスをリモコン代わりに使用することができます。
- ④ デバイスの音量を調整します。
- ⑤ アプリの各種設定を行います。本システムのファームウェアをアップデートも、こちらで行います。

### サブウーファーのクロスオーバー調整

サブウーファーのクロスオーバーコントロールを使用すると、サブウーファーのローパス・クロスオーバー周波数を調整できます。

高い値に設定すればするほど、サブウーファーが動作する周波数が高くなり、サブウーファーとサウンドバーとの低音の重なりが大きくなります。この調整を行うことで、部屋やサブウーファーの位置が変わっても、サブウーファーとサウンドバーとの間でスムーズな低音の繋がりを実現できます。

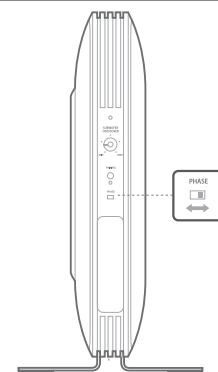
コンテンツによりばらつきがありますので、実際にお聞きになりながら、お好みの値に設定してください。



### サブウーファーの位相調整 (0-180°)

PHASE スイッチを使用して、サブウーファーから出力される低域信号の位相を切り換えます。

サウンドバーとサブウーファーの位置やリスニングポジションからの距離などの関係で、低域がスムーズにつながらない時があります。0° と 180° の両方で再生し、低音量が低下しない方を選択してください。



### 本システムをリセットする

すべての設定を工場出荷時のデフォルト設定に戻す場合は、本システムがスタンバイモードのときに、SURROUND ボタンと音量の - ボタンを押します。

工場出荷時のデフォルト設定は以下のとおりです。

項目	値
ソース	Optical (光)
システムの音量	20
サラウンドモード	Stereo
WAVE	中

## トラブルシューティング

本機が正しく動作しない場合、修理をご依頼される前に、以下の点をご確認ください。

問題	解決法
サウンドバーの電源がオンにならない	<ul style="list-style-type: none"> <li>サウンドバーの電源コードが正しく接続されているかご確認ください。</li> </ul>
サブウーファースの電源がオンにならない	<ul style="list-style-type: none"> <li>サブウーファースの電源コードが正しく接続されているかご確認ください。</li> </ul>
サウンドバーおよびサブウーファースの両方から音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> <li>サウンドバーの電源がオンになっていることを確認してください（オンの場合、電源インジケータが白く点灯します。）。</li> <li>テレビまたはその他のソース機器と、サウンドバーを接続しているケーブルの両端が、正しく接続されているかどうか確認してください。</li> <li>サウンドバーでソースが正しく設定されているかどうかをチェックし、そのソースから音声信号が再生されているか確認してください。</li> <li>システムがミュートになっていないかを確認してください。ミュートになっている場合、音量ボタンを押して、ミュートを解除します。</li> <li>サウンドバーの音量が、最も低い値に設定されていないか確認してください（音量を最も低い値に設定すると、システムはミュートになります）。</li> </ul>
サブウーファースからだけ、音が出ていない	<ul style="list-style-type: none"> <li>サブウーファースの音量コントロールが、最も低い値に設定されていないか確認してください。</li> <li>ワイヤレス接続がアクティブであることを確認してください（サブウーファースの背面の青いLEDが常灯します）。LEDが青に点滅している場合は、再度ペアリングを行ってください。</li> <li>サブウーファースをサウンドバーの近くに移動します。最大無線動作距離は、15mです。</li> </ul>
音が歪む	<ul style="list-style-type: none"> <li>音量が上がりすぎている場合は音量を下げてください。また、再生中の曲が原因の場合もありますので、別の曲をお試しください。</li> </ul>
低音の出力の大きさが十分でない	<ul style="list-style-type: none"> <li>サブウーファースの音量レベルが最小に設定されていないかを確認してください。</li> <li>部屋のコーナーにサブウーファースを設置している場合、位置を変えてみてください。</li> <li>サブウーファースを座っている位置の近くに移動してください。</li> <li>サブウーファースの PHASE スイッチを切り換えて、低音量が低下しない方を選択してください。</li> </ul>
システムををオフにしたら、音量がリセットされた	<ul style="list-style-type: none"> <li>電源オフ時に、サウンドバーで最大音量の 50% 以上で再生していた場合、次に電源をオンにしたときに、自動的に最大音量の 50% にリセットされます。</li> </ul>
テレビの電源がオンで、本システムがスタンバイ状態のときに、テレビの電源をオフにすると、本システムがオンになる	<ul style="list-style-type: none"> <li>異なるホットプラグ検出 (HPD) プロトコルが使用されている一部のテレビで発生することがあります。この場合、本サウンドバーのサラウンドボタンと音量 - ボタンを同時に押すことにより、HPD プロトコルを有効 / 無効にすることができます。</li> </ul>

## お手入れ

外装の汚れは、乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、中性洗剤を薄めた液を少し含ませた布でふき、その後乾いた布でふき取ってください。

## 主な仕様

音声入力	HDMI×3、HDMI (ARC、CEC) ×1、Bluetooth×1、光デジタル×1、アナログ×1
最大出力	総合 240W (サウンドバー：20W×4+15W×4、サブウーファー部：100W)
使用ユニット	サウンドバー：45 mm 径ミッドレンジドライバー×6、25 mm 径ドームツイーター×4 サブウーファー：112 mm 径ウーファードライバー×2
周波数特性	43Hz ~ 22 kHz
Bluetooth	バージョン：Bluetooth2.1
サイズ	サウンドバー：幅 1150×高さ 110×奥行き 32 mm サブウーファー：幅 390×高さ 460×奥行き 86 mm
質量	サウンドバー：2.6 kg サブウーファー：5.8 kg

## HARMAN Owners' Club

このたびは harman kardon 製品をご購入いただき誠にありがとうございます。HARMAN Owners' Club (ハーマンオーナーズクラブ) は、ハーマンインターナショナル取り扱い製品ご愛用者のための会員プログラムです。

会員様に向けたさまざまな特典やサービスをお届けします。

<https://www.harman-ownersclub.jp>

このアドレスからアクセスしてください。

携帯電話からはご登録できませんのでご注意ください。

## アフターサポート

日本国内のアフターサポートに関する情報は、ハーマンインターナショナル株式会社ホームページに掲載しています。

<http://www.harman-japan.co.jp/>

Tel. 0570-550-465 (ナビダイヤル)

受付時間：土日・祝日を除く、平日 9:30 ~ 17:30

 **Bluetooth®**

- Bluetooth ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標です。
- Harman International Industries, Incorporated は、これら商標を使用する許可を受けています。
- harman kardon は米国およびその他の国々における Harman International Industries, Incorporated の登録商標です。
- iPod および iPad は、米国およびその他の国々登録された Apple Inc. の商標です。
- Dolby、ドルビー及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの登録商標です。
- DTS、DTS-HD、シンボル、および DTS とシンボルの組み合わせは DTS 社の登録商標です。
- HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。

**HARMAN**

© 2014 HARMAN International Industries, Incorporated. All rights reserved.

**harman / kardon®**  
by **HARMAN**